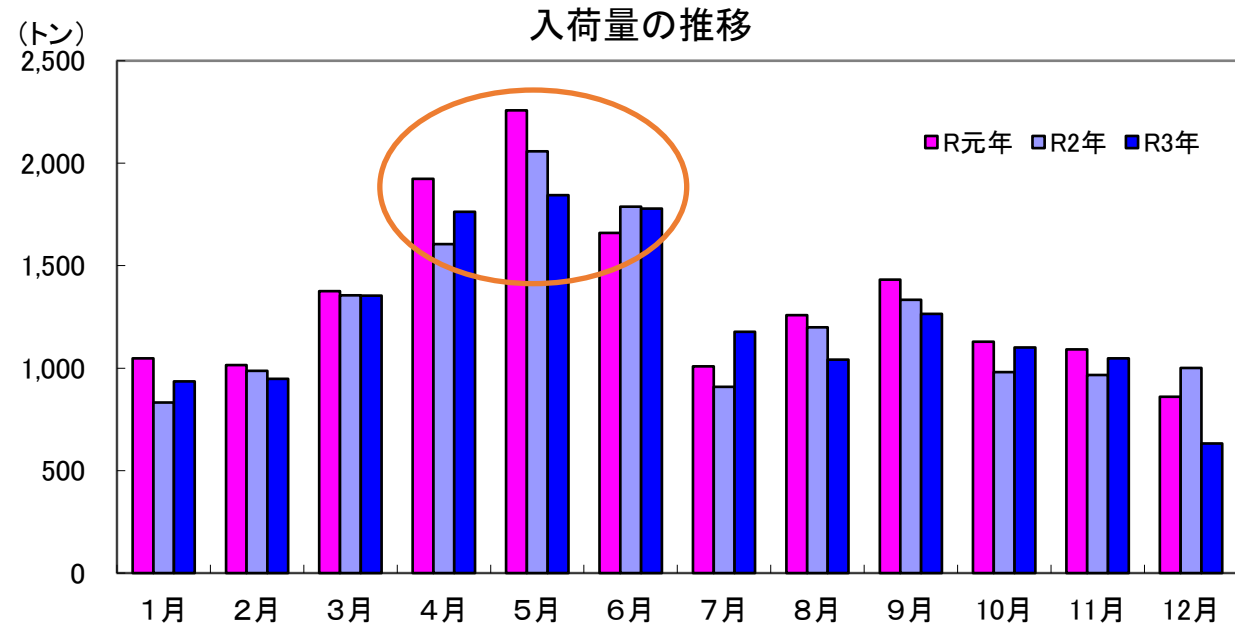
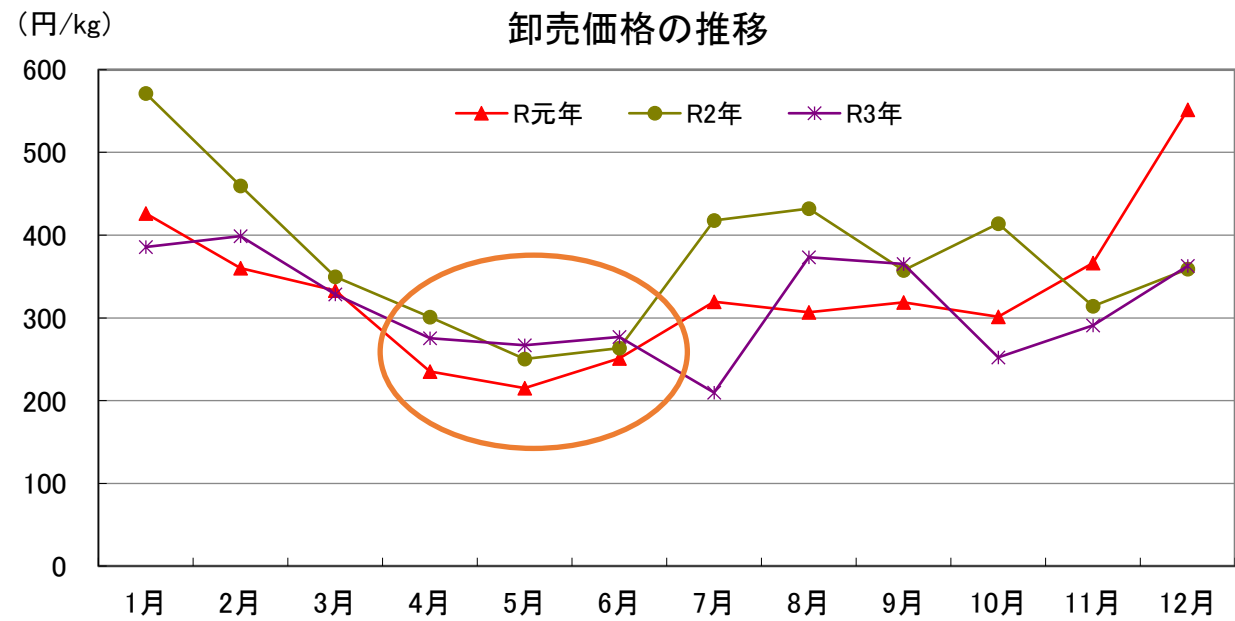


きゅうりの動向

〇年により差があるものの、4月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
346千トン	8.7千トン	21%	79%



資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、高知産が全体の33%、次いで福島産が16%、群馬産が14%で、その3県で6割強を占める。

○北陸管内からのきゅうりの供給比率は21%となっている。石川、新潟産の4分の3以上は、北陸地域へ出荷されている。

